

ぬくしな 温品

歴史再発見
～ふるさと散策

ながまちやまじょうあと

永町山城跡

Former Site of Nagamachiyama Castle

この永町山城は、室町時代の武将温科^{ぬくしな}氏の居城であったと言われています。

承久3年(1221年)、関東武士の金子氏が、温科の地頭職に任じられましたが、当初は代理者を派遣し、鎌倉時代末期に永町山城が築かれたようです。

居城といっても、天守閣などはなく、支配者の館があった程度のもと考えられています。

その後、貞治6年(1367年)、金子平内左衛門尉は、安芸国守護の武田氏から、温科村惣地頭職に任じられました。温科を統治した金子氏は、やがて在地名をとって、名字を「温科^{ぬくしな}」と名乗るようになったと言われています。

明應8年(1499年)、温科氏は武田氏にそむいたことで滅ぼされましたが、その間永町山城主として当地を支配してきました。

時を経て、周囲の風景は様変わりしましたが、この小山は、今もこの地を見守ってくれているのです。

温科の地名は、その後「温品^{ぬくしな}」と改称されて現在に至っています。



空から見た永町山城跡



永町山城跡周辺(1980年代)